

みんなでチェック! 危険な建設現場のイラスト事例集

危険感受性向上のための安全衛生教育用資料

36 の事例から現場に潜む危険ポイントと対策などを読み解く



本書は**建設現場における危険感受性を高めるための、イラストを用いた危険事例集**です。現実に関わり得る危険な作業場面を想定した **36 事例を、それぞれチェック用イラストとその詳細な解説で1セットになるよう編集しています。**

チェック用イラストページは複数人または一人でそこに潜む危険ポイントを探す際に、解説ページは危険ポイントとその対策についての一例を参照する際にお使いいただけます。

職長や現場作業員など、建設業に従事する方の安全衛生教育時にご活用ください。なお、**各事例ページは切り取ってご利用いただけます。**

本チラシでご注文の
コンサルタントの方のみ!

**10%
引き!**

税込定価 660 円 → **特別価格 594 円**

※本チラシの特別価格有効期限：2021 年 1 月末

B5 判 モノクロ 全 80 ページ

一般社団法人日本労働安全衛生
コンサルタント会東京支部 監修

○下記必要事項をご記入のうえ、FAX 又はメールで本チラシをお送りください。

● FAX : 03-3956-1611

● メールアドレス : order@rodo.co.jp

※送料(右図参照)が別途かかります。予めご了承ください。

送料は商品の税込合計金額により、右の5区分となります。

1 回のご注文につき、配送先 1 カ所の金額です。

※書籍に請求書、振替用紙を同封してお届けします。

【送料】

書籍購入額(税込)	送料(税込)
1~2,000 円	320 円
2,001~6,000 円	530 円
6,001~10,000 円	800 円
10,001~29,999 円	1,050 円
30,000 円以上	無料

○書籍名 : みんなでチェック! 危険な建設現場のイラスト事例集

○冊数 :

○所在地 :

○貴社名 :

○氏名 :

○コンサルタント会会員 No :

○電話番号 :

C

お問合せ先 : 株式会社労働新聞社 出版事業部

〒173-0022 東京都板橋区仲町 29-9

TEL 03-5926-6888

労働新聞社

<https://www.rodo.co.jp/>



※本書より、コピー等の使用を希望する場合は、上記問い合わせ先に連絡してください。

内容のご紹介

全事例
切り取り可！

各事例は以下のように、・イラストページ（表面）
・解説ページ（裏面） が1つのセットになっております。

チェック用イラストページ

- ① 題材となる作業場面です。イラスト内には様々な危険が潜んでいます。
- ② 作業場面が具体的にどんな状況なのかを説明しています。
- ③ イラストを見て、危険なポイントはどこか考えて書き出してみましょう。
- ④ 危険ポイントを発見したら、それをなくすためには何をすればいいか、対策を考えて書き出してみましょう。
- ⑤ 分類名を表示しています。関心のある項目を探す際、ご参照ください。

● No.1 雨天での盛土作業

地質・地盤

①

②

③

④

状況

掘削土砂の運搬とドラグショベルによる盛土作業が行われています。急に激しい雨が降りはじめ、あたりはあっという間に水浸しになってしまいました。

ここが危ない！

危険をなくすためには？

解説ページ

- ⑥ 危険ポイントがどこかを端的に示しています。詳しくは「具体的にどうなる？」をご確認ください。
- ⑦ 「ここが危ない」で述べた危険ポイントについて、より具体的に説明しています。
- ⑧ 危険をなくすための対策について具体的に説明しています。
- ⑨ 解説内容に関係している法令や参考として知っておきたい情報などについて記載しております。

ここが危ない！

① 盛土の流下

② 盛土が沈下してショベル転倒

③ ドラグショベルの旋回範囲内に作業者がいる

④ 泥土に足を取られて転倒

具体的にどうなる？

① 降雨によって盛土作業をしている箇所の斜面土部の盛土が軟弱化して、流下して来る危険がある。

② 降雨により、土砂の含水量が極限まで増加している状況である。ドラグショベルの掘付地盤の盛土が沈下して、ドラグショベルが転倒する危険がある。

③ ドラグショベルの旋回範囲への作業者の立入禁止柵が設置されていない。作業者がドラグショベルに激突される危険がある。

④ 作業現場の一部は泥土化しているので、作業者が歩行時に足を取られて転倒する危険がある。

危険をなくすためには？

○降雨中は、土砂運搬や盛土作業は実施せずに、作業場所の排水作業を最優先で実施する。作業全体の監督指揮者を配置する。

○ドラグショベルなど重機の旋回範囲には立入禁止柵を設置して、作業者が立ち入らないようにする。

○作業者は、水溜まりの泥土上を歩く際に転倒しないよう、滑り止め付きの防水長靴を着用する。

<関係法令>

○安衛則 158 条（接触の防止）、534 条（地山の崩壊等による危険の防止）